TOPIX

Vol.6（2020.12）

湖北広域行政事務センター

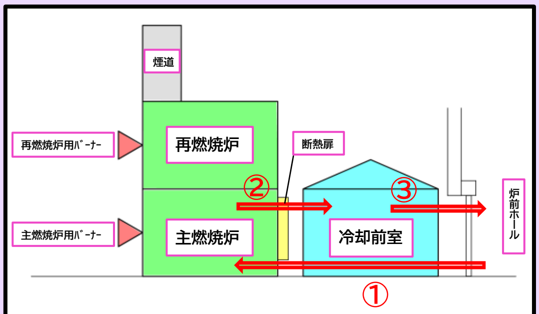
新斎場整備運営事業

火葬炉（かそうろ）工事が始まりました

火葬炉とは？

火葬炉とは、故人のご遺体（いたい）を高温で火葬するための設備のことを言います。火葬炉の種類には「台車式」と「ロストル式」がありますが、国内の大半が「台車式」です。「台車式」は、火葬炉専用の台車に棺（ひつぎ）を載せ、電動で台車ごと火葬炉内に収納し、火葬する方式です。

火葬炉の仕組み

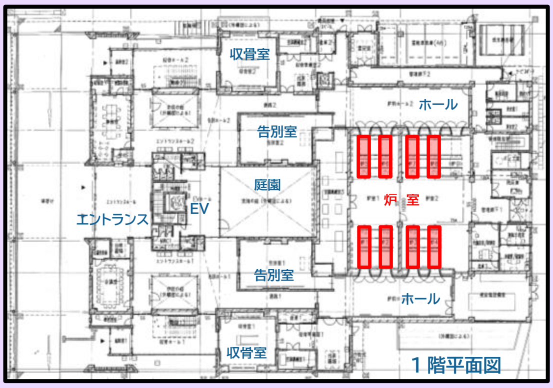


※台車の流れ（〇囲みの数字の順に動きます）

火葬炉は主燃焼炉（しゅねんしょうろ）・再燃焼炉（さいねんしょうろ）に分かれており、主燃焼炉でご遺体の火葬を行います。再燃焼炉では主燃焼炉で発生する排出（はいしゅつ）ガスを燃焼し、分解（ぶんかい）することで、排出ガスをきれいにします。また、火葬後の遺骨（いこつ）の冷却のため、「冷却前室（れいきゃくまえしつ）」があります。燃焼中の、火葬炉内の温度は 800℃以上になります。

今回の工事では

今回の工事では、右側の図面の赤色部分のとおり火葬炉を8基設置します。火葬炉設備の大きさ（主燃焼炉と再燃焼炉を合わせた大きさ）は、長さ260cm×幅160cm×高さ 340cm位あり、現在の施設の火葬炉より、大型の火葬炉を設置します。



1階平面図